

生活環境部関係の令和6年能登半島地震及び 令和6年奥能登豪雨に係る復旧・復興の進捗状況について

1. 水道（断水）

最 大	現 状
(地震) 約 11 万戸	(地震) 断水解消 ※R6 5/31
(豪雨) 約 5 千戸	(豪雨) 断水解消 ※R6 12/20

※土砂崩れや建物倒壊などによる復旧困難地区を除く

→復旧困難地区 輪島市 209 戸 珠洲市 291 戸 (1/9 時点)

○宅内配管の修繕工事を促進するため、相談窓口の設置期限を
令和6年12月27日から令和7年3月31日に延長

→令和6年5月 相談窓口の開設

- ・地元以外の工事業者の手配
- ・地元以外の業者に発注した際の掛かり増し経費に対する補助
(約 200 件・約 13 百万円)

2. 公費解体

中間目標 (R6. 12 月末)	実 績 (R6 12 月末)
12, 445 棟	14, 152 棟

- ・解体見込棟数 32, 410 棟の 43. 7%にあたる 14, 152 棟の解体が完了
- ・昨年8月の公費解体加速化プランで定めた12月末の中間目標12, 445 棟を上回った

○申請棟数 34, 839 棟が、解体見込棟数 32, 410 棟を上回り、奥能登豪雨の影響により公費解体棟数の増加が見込まれることを考慮し、環境省や市町と協議の上、解体計画（解体棟数、解体班数等）の今月中の見直しに向け作業中



3. 災害ボランティア

実績 (R6 1/1~12/27)

能登半島地震・奥能登豪雨の活動ボランティア数 **184,724 人**

※県募集 62,327 人 + 市町募集 122,397 人

※うち奥能登豪雨の活動ボランティア数（輪島・珠洲・能登） 22,788 人

○市町のボランティアセンターに要請のあった緊急性のある箇所は、昨年中に全て対応

→今月から、輪島市、珠洲市についても、立ち合いの日程調整がしやすいため住民からの要望の多い週末に限定して稼働する「週末型（金・土・日）」へ移行

→県ボランティアバスの運行についても、週末型で引き続き実施

○設置期間を延長していた、ボランティア宿泊拠点「日本航空学園・輪島ベースキャンプ」は、緊急性のあるニーズへの対応が完了したことを踏まえ、1月19日に閉鎖予定